

医療法人 正観会 御野場病院 広報誌



なおみ

第30号

令和3年5月発行

信頼され、選ばれる病院を目指して



INDEX

- 第29回 なんケアの会 ● 大内先生ごあいさつ
- 柳生先生追悼文 ● ほほえみサロン通信vol.03
- 理念 ● 診療担当医表 ● アクセス



“地域で最期まで暮らす”を支える私たちの取り組み

開催日時:令和3年2月5日(金)18:00~19:15 会場:南部市民サービスセンター「なんびあ」2階 地域文化ホール
参加者:35名(介護支援事業所関係者25名、地域包括支援センター7名、福祉用具事業所2名、その他1名)

演題

“地域で最期まで暮らす”を支える私たちの取り組み

1. ホームホスピス NPO法人 ホームホスピス秋田 くららの家 佐々木 奈々子 様
2. 看護小規模多機能型居宅介護 株式会社 虹の街 看護小規模多機能いずみ 竹浪 ゆり 様

今年度最後のなんケアの会(第29回)を令和3年2月5日(金)に開催いたしました。今回のテーマは「“地域で最期まで暮らす”を支える私たちの取り組み」です。地域包括ケアシステムにおいて「住まい」の確保は最重要課題といっても過言ではありません。介護の担い手不足、介護者の高齢化、医療依存度の高さなど、さまざまな問題により、多くの方が住居支援を必要としています。このような状況の中、大きな支えとなり注目されている「ホームホスピス」と「看護小規模多機能型居宅介護(以下、看多機)」の2つの施設から、施設の概要と取り組みについて詳しいお話をうかがいました。

初めに、NPO法人ホームホスピス秋田 訪問看護ステーションの佐々木 奈々子氏よりホームホスピス秋田くららの家についてご講演いただきました。ホームホスピスとは、住み慣れた地域で、なじみの人たちに囲まれて《その人らしく》人生を全うすることを望む方々の、施設でもない自宅でもないもう一つの「居場所」とうたわれています。くららの家では民家を借り受けて7~8名の方が生活しており、一人ひとりの身体状況に合わせて医療・介護保険を組み合わせた在宅ケアプランが計画され、かかりつけ医の往診や訪問看護ステーションをはじめとした各種サービスを利用しているようです。さらに定期的にボランティアの方もお手伝いに来てくれるというお話をうかがい、地域とのつながりや助け合いのかたちが確立されていることも教えていただきました。

ご講演の後半には、実際の室内やご入居者が生活している様子が分かる写真も拝見させていただき、ホームホスピスが《その人らしく》生活するための「居場所」であることがよく分かりました。

続いて、虹の街看護小規模多機能いずみの看護師である竹浪 ゆり氏より看多機についての講演をいただきました。現在は28名の方が登録されており、7室あるお部屋を調整しながら利用しているそうです。

看多機を利用するにあたって、要支援1以上であることと地域密着型サービスのため管轄する市町村に住んでいることの大きく2つの条件がある中で、この事業所では医療処置が必要な方を含め積極的な受け入れをしているというお話でした。ただ、人工呼吸器を装着されている方については、泊まりサービスを利用できないという理由から受け入れをお断りしているようです。

また、看多機としての役割の一つが、在宅生活を継続するためのサービスであることから、みとり希望の相談については訪問診療医と連携しながら在宅みとりのお手伝いも対応しているとのことでした。実際にその貴重な事例も紹介していただき、必要ときに医療サービスや介護サービスを臨機応変に受けられることがよく分かりました。

本日の講演で、この2つのサービスが地域包括ケアシステムの要として大切な役割を担っていることを教えていただきました。講演で知り得た知識を活かしながら、これからも医療・介護を組み合わせた一人ひとりに合った幅広いケアを考えていきたいと思えます。

次回のなんケアの会は令和3年6月を予定しております。新型コロナウイルス感染症の動向により、自粛・中止させていただく可能性もございますので、あらかじめご了承ください。変更、詳細につきましては今後ホームページにて順次お知らせいたします。

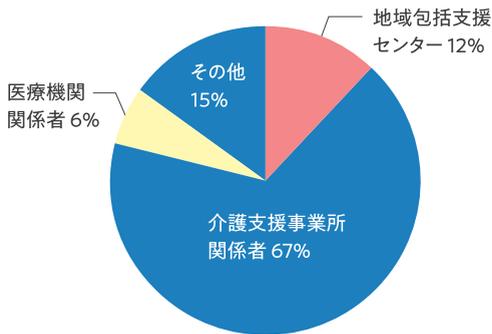
なんケアの会



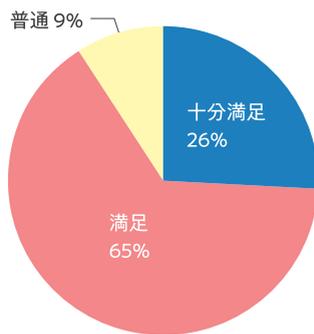
参加者の皆さんにアンケート

回収率:97.1% (アンケート配布:35名、回収:34名)

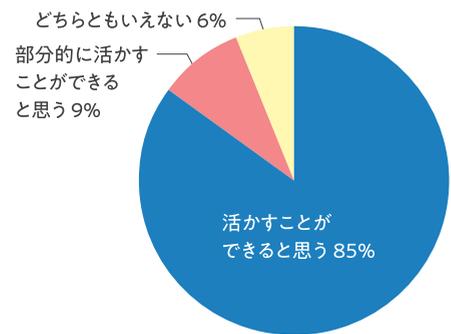
Q1.所属を教えてください



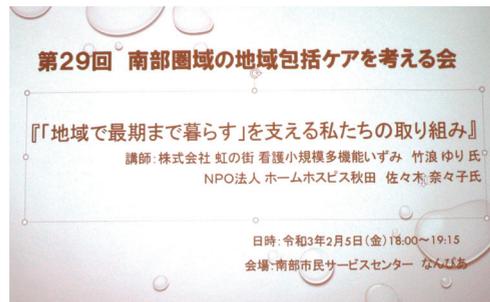
Q2.参加していかがでしたか?



Q3.今後、地域での活動に活かすことができそうですか?



会場の様子と皆さんからのご意見・ご感想



↑ソーシャルディスタンスを確保しています

ホームホスピス、看多機
の実際のお話を聞くの
は初めてでした。大変勉
強になりました。ありが
とうございました。
地域包括支援センター



初めて参加させていただきました。
普段、医療介護連携に関する仕事をしていま
すが、地域の事業者さんの取り組みを知る機
会がないため、大変勉強になりました。地域に
このように手厚く寄り添ったケアを実施されて
いる事業者さんがあるというのはとても安心だ
と思います。ありがとうございました。
在宅医療介護連携センター



オンライン研修が増えている中、直
接顔を見て声が聞ける研修は貴重だと感じ
ています。可能な限り出席を続けたいと思
います。なんケアの会の後は、職員会議
などで内容を全職員に周知しております。
さまざまな情報をありがとうございます。
グループホーム



次回予告 開催日時:令和3年6月4日(金)18:00~19:15 会場:御所野交流センター(予定)

ごあいさつ

おおうち しんいちろう

診療部長 大内 慎一郎



3年ほど前に東北厚生局に移り、保険医療機関の指導監査業務を担当してきましたが、定年を迎え、少しばかり延長することも可能でしたが、一身上の都合で、このたび、御野場病院に勤務することになりました。これまで消化器外科を専門として診療にあたってきましたが、当院では神経難病患者さんの入院する特殊疾患病棟を管理します。30床の病棟で、パーキンソン病関連疾患や筋萎縮側索硬化症などの患者さんが対象です。全介助で話すことができない患者さんがほとんどですが、患者さんの気持ちをできるだけくみ取って診療にあたっていきたいと考えています。また指導監査業務の方は、引き続き保険指導医として兼務する予定です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



追悼文

柳生 昭先生が令和3年4月2日に他界された。柳生先生は、平成7年7月当院に院長として赴任され、平成12年12月まで院長職を務められた。その後も当院に勤務され、平成25年3月に退職されている。

先生は、病院の運営・診療活動のみならず、幅広い分野で当院に貢献された。会議室の西側一角を占める職員図書文庫は先生の発案によるもので、職員の申請により購入した本、あるいは職員から寄贈された本が透明なフィルムカバーで処理され、分野別に通し番号で並んでいる。

夏祭りを企画・開催したのも柳生先生である。長期間入院されている患者さんを慰め、地域住民との交流を図る場として平成8年に開催し、令和元年まで続いた。雄和太鼓、竿灯、あおぞら保育園児による歌と踊り、盆踊りなどが披露され、多くの人たちを楽しませた。

特筆すべきは、平成8年から12年まで月2回介護福祉士養成のための勉強会を開催したことである。介護福祉士の資格制度が始まったばかりの頃で、先生は自らテキストを作成し、講義した。そのかいあって、介護職員25名が介護福祉士国家試験に合格している。

この他に、卓球、バレーボール、ボーリングなどのスポーツ大会を開催し、多くの職員を楽しませ、励ました。子供のような性格で、飾ることなく、お茶目だった。酒に酔うと何を言っているのか分からないこともあったが、人が好きで、何より人の和を大事にする先生であった。先生の長靴を履いて飄々と歩く姿をもう拝見することができないのは、まことに寂しい限りである。

理事長 皆河 崇志



ほほえみサロンおのぼ

高齢者、認知症の暮らしに役立つ6つのアドバイス



今回は高齢の家族と一緒に暮らすために、覚えていたら役立つアドバイスを紹介していきたいと思います。

1



認知症や加齢による見え方の変化により、食器と料理の色が似ていると、認識しにくくなる場合があります。料理が判別しやすい色味の食器を利用することで、食事がしやすくなります。

2



疾患や高齢により、上を向く動作が苦手になる場合があります。ご自宅で使われるカップの工夫で、適量を口に含むことができますので、むせの予防にもなります。

道具

入浴剤が使われていた方や温泉好きな方にとって、温泉の香りと一緒に入浴剤を溶かすという行為は、お風呂に入りたいという気持ちにつながっていきます。



習慣

4



認知症の方は自宅で寝室の場所を変えたときなど、部屋と部屋の動線が分からなくなり、迷ったり混乱を引き起こす場合があります。本人の行きたい場所が分かるように、分かる方法・高さに目印を設置することで移動を支援します。

5



昔の食卓では、なにか決まって見ていた番組があるのではないのでしょうか？ 認知症により時間の感覚があいまいになった方にとっては、それが食事やその準備を連想させるような刺激になっているかもしれません。

6

本人「らしさ」につながる習慣は継続できるようにしましょう。例えば、外出するときには必ず帽子をかぶる、日傘を使う、お気に入りのカバンを持つなど。認知症と診断を受けても、その人らしさは日常の中にあります。



ほほえみサロンおのぼで皆さんに会える日を
楽しみにしています
今しばらくお待ちくださいませ～!!



「信頼され、選ばれる病院を目指して」

— 安全・信頼・連携・地域密着 —

私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、
安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、
患者さんや地域の皆さんから信頼され、選ばれる病院を目指します。

診療担当医表

診療時間	診療科目	月	火	水	木	金
午前 9時～12時	内 科	吉川 晴夫 小田嶋 貢	吉川 晴夫 金谷 有子	皆河 崇志	石黒 英明 金谷 有子	石黒 英明
	神経内科	—	—	—	石黒 英明	石黒 英明
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	—	千葉 正明	千葉 正明
午後 1時30分～3時	内 科	—	小林 佳美	吉川 晴夫 市原 利晃 (第2)	皆河 崇志	小林 佳美 小田嶋 貢 (第2・4)
	リハビリ	—	小林 佳美	—	—	小林 佳美
	神経内科	石黒 英明	—	—	—	—
	歯 科	千葉 正明	千葉 正明	—	千葉 正明	千葉 正明

※令和3年5月1日以降 ※午前の受付は11時30分までをお願いします。

※出張などにより、担当医が変更になる場合がございます。指定の医師をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

医療法人 正観会 **御野場病院**
〒010-1424 秋田市御野場二丁目14-1
TEL.018-839-6141 FAX.018-839-5025



- JR秋田駅より車で20分
- バス（秋田市営交通）
御野場団地線／御野場病院前下車

